

広報発表

令和3年6月28日

公益社団法人 京都市観光協会（DMO KYOTO）

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

京都市観光協会 旅館統計調査の発表を開始します

このたび、京都市内の旅館 32 軒からご協力をいただき、令和3年（2021年）4月および5月の客室稼働率等の統計調査を行いましたので、分析結果をお知らせします。これまで、宿泊施設に関する調査は市内のホテル（客室ベースで5割をカバー）を対象に行なって参りましたが、今回これに加えて旅館を対象とすることで、より市内の宿泊動向を精緻に把握することを目指します。なお、6月分以降の調査結果は、毎月の京都市観光協会データ月報においてお知らせして参ります。

調査結果のポイント

市内旅館の客室稼働率は4月が3.9%、5月が3.0%と、緊急事態宣言の影響を大きく受ける

市内主要旅館における客室稼働率は、緊急事態宣言による影響を大きく受けた結果、4月は3.9%、5月は3.0%と低い水準に落ち込んだ。1回目の緊急事態宣言が発出された前年同月と比べるとわずかに上昇したとはいえ、厳しい経営状況が続いている。

5月は4軒が全日休業し、部分休業した施設も含めると販売可能客室数は本来から6割減

5月は緊急事態宣言の影響で、調査対象施設 32 軒中 4 軒が全日程（31 日間）休業（予約受付を停止）した。また、一部の日程のみ休業した施設も含めると、5月の販売可能客室数は本来販売可能であったと考えられる客室数（月間延べ約 2.4 万室）からすると 6 割減となった。需要の減少を見越して、多くの旅館が営業活動を縮小していたと考えられる。

平均客室単価はわずかな上昇に留まる

平均客室単価の前年同月からの変動率は、4月が 0.6% 増、5月は 1.7% 増とわずかに上昇しており、需要の変動に応じた積極的な価格調整は行われていない。

指標の定義

客室稼働率： 当該月に販売可能であった客室数に占める稼働客室数の割合。1 部屋あたりの定員数は考慮していないため、一般的に 1 部屋あたりの定員が多い旅館は、同じ宿泊客数であっても、ホテルと比べると客室稼働率が低くなる傾向があることに留意が必要。

外国人比率： 総延べ泊数に占める、外国人延べ泊数の割合。

価格変動率： 宿泊需要の変動に応じた価格の変化の把握や、ホテル統計との比較を行うため、変動の少ない食事部分を除いた、素泊まりプラン料金の前年同月からの変動率とする。

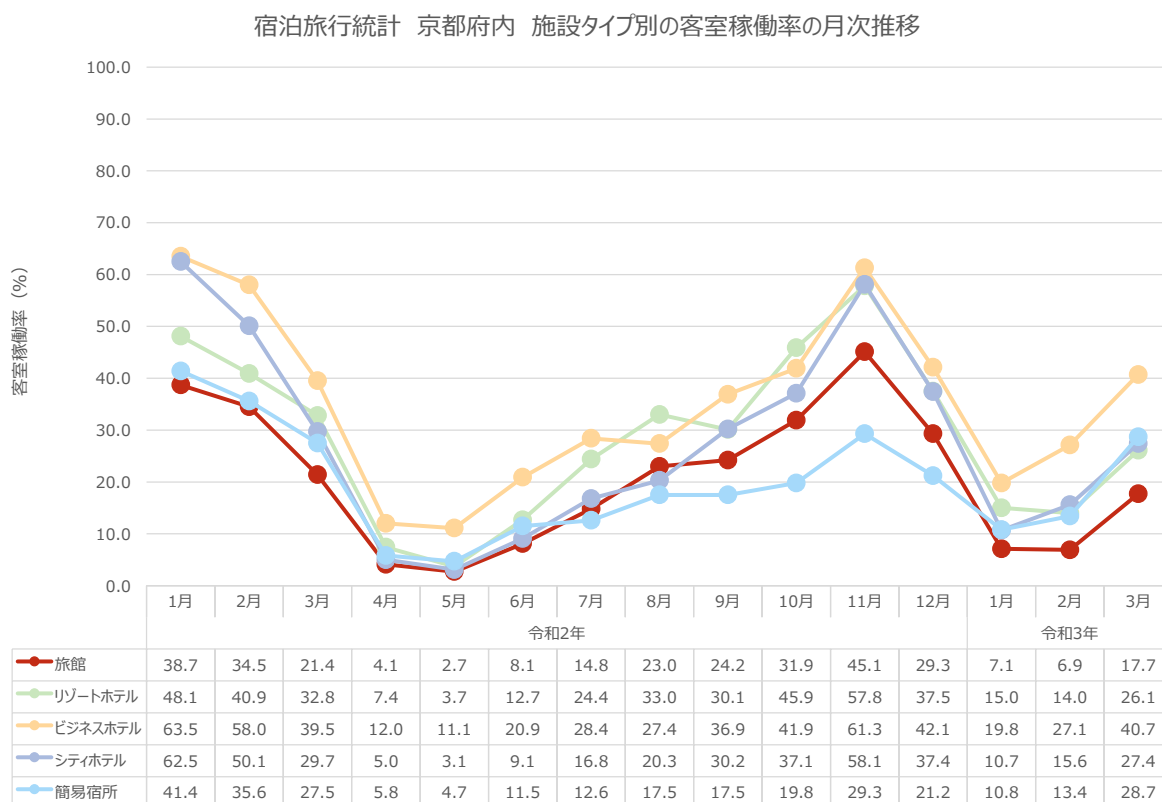
調査結果詳細

	2021 年 4 月	2020 年 4 月	前年同月差	前年同月比
月間 販売可能客室数	20,667	15,242	△ 5,425	△ 35.6%
月間 稼働客室数	805	313	△ 492	△ 157.2%
客室稼働率	3.9%	2.1%	△ 1.84	△ 89.7%
総延べ宿泊数	1,786	637	△ 1,149	△ 180.4%
総実宿泊客数	1,590	547	△ 1,043	△ 190.5%
一部屋当たり客数	2.22	2.04	△ 0.18	△ 9.0%
一人当たり宿泊日数	1.12	1.16	▼ 0.04	▼ 3.5%
日本人延べ宿泊数	1,770	597	△ 1,173	△ 196.5%
日本人実宿泊客数	1,577	515	△ 1,062	△ 206.0%
日本人 一人当たり宿泊日数	1.12	1.16	▼ 0.04	▼ 3.1%
外国人延べ宿泊数	16	40	▼ 24	▼ 60.0%
外国人実宿泊客数	13	32	▼ 19	▼ 59.0%
外国人 一人当たり宿泊日数	1.22	1.25	▼ 0.03	▼ 2.4%
外国人比率	0.9%	6.3%	▼ 5.38	▼ 85.7%
平均客室単価 変動率	△ 0.6%	-	-	-

	2021 年 5 月	2020 年 5 月	前年同月差	前年同月比
月間 販売可能客室数	10,400	6,357	△ 4,043	△ 63.6%
月間 稼働客室数	310	127	△ 183	△ 144.1%
客室稼働率	3.0%	2.0%	△ 0.98	△ 49.2%
総延べ宿泊数	740	306	△ 434	△ 141.8%
総実宿泊客数	260	32	△ 228	△ 712.5%
一部屋当たり客数	2.39	2.41	▼ 0.02	▼ 0.9%
一人当たり宿泊日数	2.85	9.56	▼ 6.72	▼ 70.2%
日本人延べ宿泊数	737	295	△ 442	△ 149.8%
日本人実宿泊客数	258	30	△ 228	△ 760.0%
日本人 一人当たり宿泊日数	2.86	9.83	▼ 6.98	▼ 70.9%
外国人延べ宿泊数	3	11	▼ 8	▼ 72.7%
外国人実宿泊客数	2	2	△ 0	△ 0.0%
外国人 一人当たり宿泊日数	1.50	5.50	▼ 4.00	▼ 72.7%
外国人比率	0.4%	3.6%	▼ 3.22	▼ 88.7%
平均客室単価 変動率	△ 1.7%	-	-	-

(参考) 宿泊旅行統計における京都府内の施設タイプ別の客室稼働率の月次推移

観光庁「宿泊旅行統計」によると、京都府下における宿泊施設のタイプ別の客室稼働率の推移における「旅館」の値は、最新発表時点の3月で17.7%となっており、他タイプと比べると低かった。GoTo トラベルキャンペーンなどの影響があった昨年の夏から秋にかけての期間を除くと、旅館の客室稼働率は他タイプと比べると低い水準で推移している。



出典) 観光庁「宿泊旅行統計 2次速報」をもとに京都市観光協会にて集計

その他

- 京都市内旅館統計は、調査対象施設のみなさまのご協力、ならびに京都市観光協会会員および京都文化交流コンベンションビューロー賛助会員からの会費をもとに運営しております。
- 本資料の数値を引用する場合は、「出典：京都市観光協会 旅館統計調査」を明示してください。
- 本調査は、速報性を重視して京都市内の主な施設を対象に実施する標本調査であることにご注意ください。なお、平成30年の旅館業法改正にともないホテル・旅館の区分が廃止されたため、市内全体における旅館の施設数および客室数の数値は不明であるが、区分が廃止される直前までの旅館の数値を母数とした場合、本調査が対象とする施設が市内施設に占める客室数の割合は約15%である。

<本件に関する問い合わせ先>

公益社団法人京都市観光協会

TEL : 075-213-0070 e-mail : marketing@kyokanko.or.jp

担当 : マーケティング課 堀江、水本、嵯峨